



2025年3月期 第2四半期（中間期）

決算説明資料

（ハイライト情報）

2024年10月29日

蝶理株式会社

決算概要のポイント

POINT

中期経営計画「Chori Innovation Plan 2025」を推進

- ・売上高及び各段階利益は、業績予想に対し順調に進捗。
- ・経常利益86億円、税金等調整前中間純利益93億円、親会社株主に帰属する中間純利益70億円は、全て過去最高益を更新。

業績概要

- ・前年同期比増収、経常利益段階以下は増益。
- ・全セグメントともに増益。

財務基盤

- ・自己資本比率 **61.5%** 高水準を維持。
- ・ROE※1（年間ベース） **16.5%**
- ・ROIC※2（年間ベース） **11.7%**

※1 親会社株主に帰属する当期純利益ベース

※2 ROIC = 税引後営業利益 ÷ 投下資本（自己資本 + 有利子負債）期中平均

トピックス

- ・全社業務変革プロジェクト（基幹システム（SAP）導入プロジェクト：通称CARAT）は、2025年度からの本格稼働に向けシステム開発が計画通り進捗、各現場担当者のトレーニングがスタート。
- ・JPX総研及び日本経済新聞社が共同で算出する「JPX日経中小型株指数」の構成銘柄に初選定。

業績内容（前年同期比）

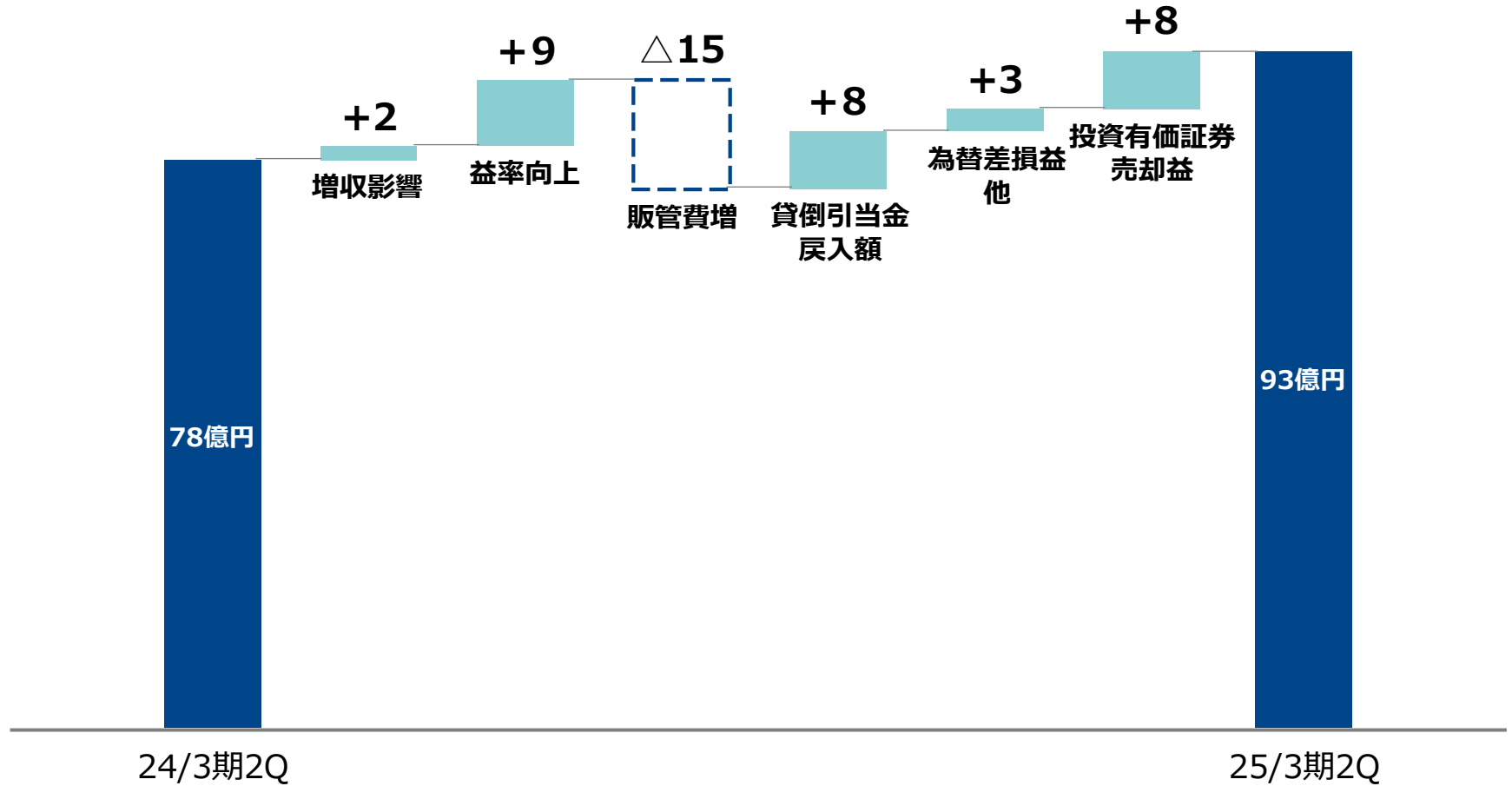
POINT

- 日本経済は、賃金上昇による雇用・所得環境の改善、インバウンド需要の拡大等により緩やかな回復基調。世界経済は、イスラエル・パレスチナ情勢の緊迫化や、内需低迷による中国の景気減速等により先行き不透明な状況。
- 売上高は増収。人件費増加及び大阪本社移転関連費用計上を主因に販管費が増加し、営業利益は減益。中国の化学品製造会社グループに係る債権の一部回収による貸倒引当金戻入額の計上等により経常利益は増益。投資有価証券売却益の計上もあり、税金等調整前中間純利益（セグメント利益）は大幅増益。

	(単位：億円)	24/3期 2Q	25/3期 2Q	増減額	増減率
売上高		1,529	1,545	+15	+1.0%
売上総利益		193	204	+11	+5.5%
販売費及び一般管理費		115	130	+15	+12.8%
営業利益		78	74	-4	-5.3%
経常利益		76	86	+9	+12.3%
税金等調整前中間純利益		78	93	+15	+19.9%
親会社株主に帰属する中間純利益		50	70	+20	+40.2%

税金等調整前中間純利益の主な増減要因

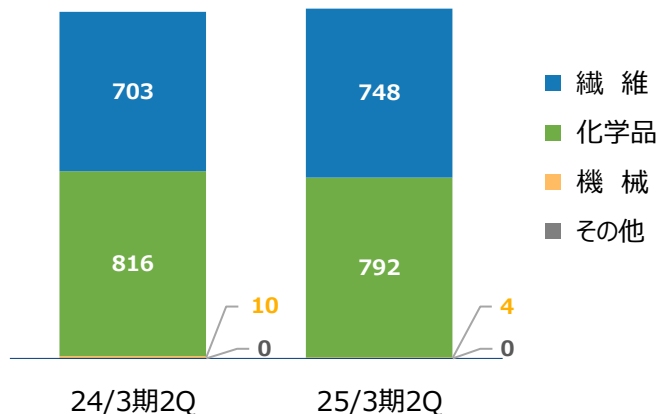
(単位：億円)



セグメント業績

売上高

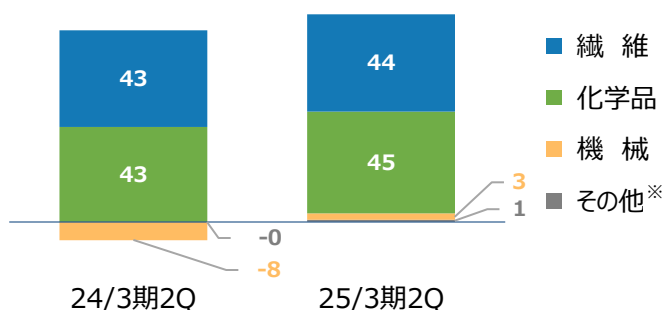
(単位：億円)



	24/3期 2Q	25/3期 2Q	増減額
繊維	703	748	+45
化学品	816	792	-23
機械	10	4	-6
その他	0	0	+0
合計	1,529	1,545	+15

税金等調整前中間純利益又は損失

(単位：億円)



	24/3期 2Q	25/3期 2Q	増減額
繊維	43	44	+1
化学品	43	45	+3
機械	-8	3	+11
その他*	-0	1	+1
合計	78	93	+15

※「その他」には調整額を含んでおります。

繊維 増収増益

堅調

全般

好調

繊維原料・テキスタイル（輸出）・
婦人衣料品

利益

投資有価証券売却益

化学品 減収増益

低調

ファインケミカルの需要減退・市況低迷

堅調

パフォーマンスケミカル

利益

貸倒引当金戻入

機械 減収増益（黒字転換）

回復

為替差損益の改善

POINT

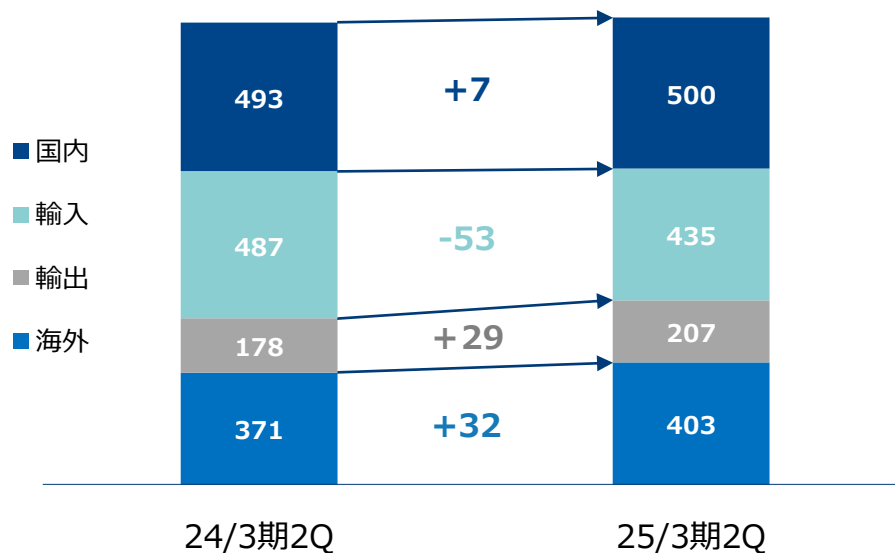
- 海外及び輸出売上高が増加、輸入売上高は繊維事業、化学品事業ともに減少。
- 貿易比率：67.6%（前期比 -0.2pt）

(単位：億円)

売上高	1,529	売上高	1,545
貿易取引	1,036	貿易取引	1,045
(貿易比率)	(67.8%)	(貿易比率)	(67.6%)

増減

売上高	+15
貿易取引	+8
(貿易比率)	(-0.2pt)



国内売上高 日本国内仕入の日本国内への売上高

貿易取引

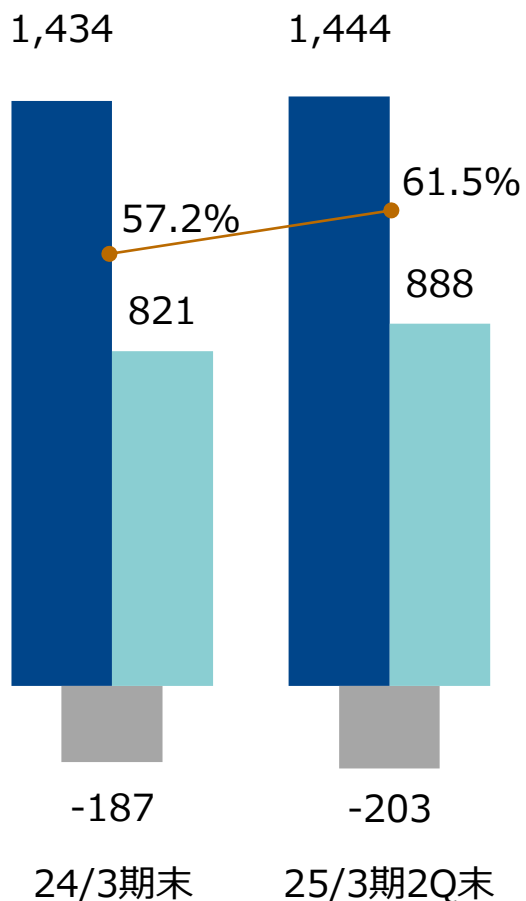
輸入売上高 海外から日本国内への売上高

輸出売上高 日本国内から海外への売上高

海外売上高 海外取引の売上高

(単位：億円)

■ 総資産 ■ ネット有利子負債 ■ 自己資本 ● 自己資本比率



財務健全性

	24/3期末	25/3期 2Q末	増減
総資産	1,434	1,444	+11
ネット有利子負債	-187	-203	-16
自己資本	821	888	+67
自己資本比率	57.2%	61.5%	+4.3pt

収益性・資本効率

	24/3期末	25/3期 2Q末 ^{※3}	増減
ROA (当期純利益 ^{※1} ベース)	6.7%	9.8%	+3.1pt
ROE (当期純利益 ^{※1} ベース)	12.5%	16.5%	+4.0pt
ROIC ^{※2}	12.4%	11.7%	-0.7pt
(参考) ROA (経常利益ベース)	10.1%	11.9%	+1.8pt

※1 親会社株主に帰属する当期純利益

※2 ROIC = 税引後営業利益 ÷ 投下資本 (自己資本 + 有利子負債) 期中平均

※3 年間ベース

キャッシュ・フローの状況

POINT

- 営業活動：税金等調整前中間純利益（93億円）、仕入債務の減少（65億円）等により+21億円
- 投資活動：基幹システム導入に伴う無形固定資産の取得（13億円）等はあるも、投資有価証券の売却（23億円）により+2億円
- 財務活動：配当金の支払い（15億円）等により-21億円

(単位：億円)

	24/3期 2Q	25/3期 2Q	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	15	21	+5
投資活動によるキャッシュ・フロー	-13	2	+15
財務活動によるキャッシュ・フロー	-28	-21	+6
換算差額	6	9	+2
キャッシュ・フロー合計	-19	10	+29
現金及び現金同等物の中間期末残高	170	220	+51

2025年3月期業績予想

POINT

- 2025年3月期業績予想は、前期比増収、税金等調整前当期純利益（セグメント利益）は過去最高益更新、親会社株主に帰属する当期純利益は100億円への到達を目指す。
- 2025年3月期第2四半期は、業績予想に対し順調に進捗。

	(単位：億円)			
	25/3期 2Q実績	25/3期 予想	25/3期 進捗率	24/3期 通期実績
売上高	1,545	3,200	48.3%	3,077
営業利益	74	150	49.2%	150
経常利益	86	150	57.1%	145
税金等調整前当期（中間）純利益	93	150	62.1%	147
親会社株主に帰属する当期（中間）純利益	70	100	70.4%	96

2025年3月期配当金

配当の基本方針

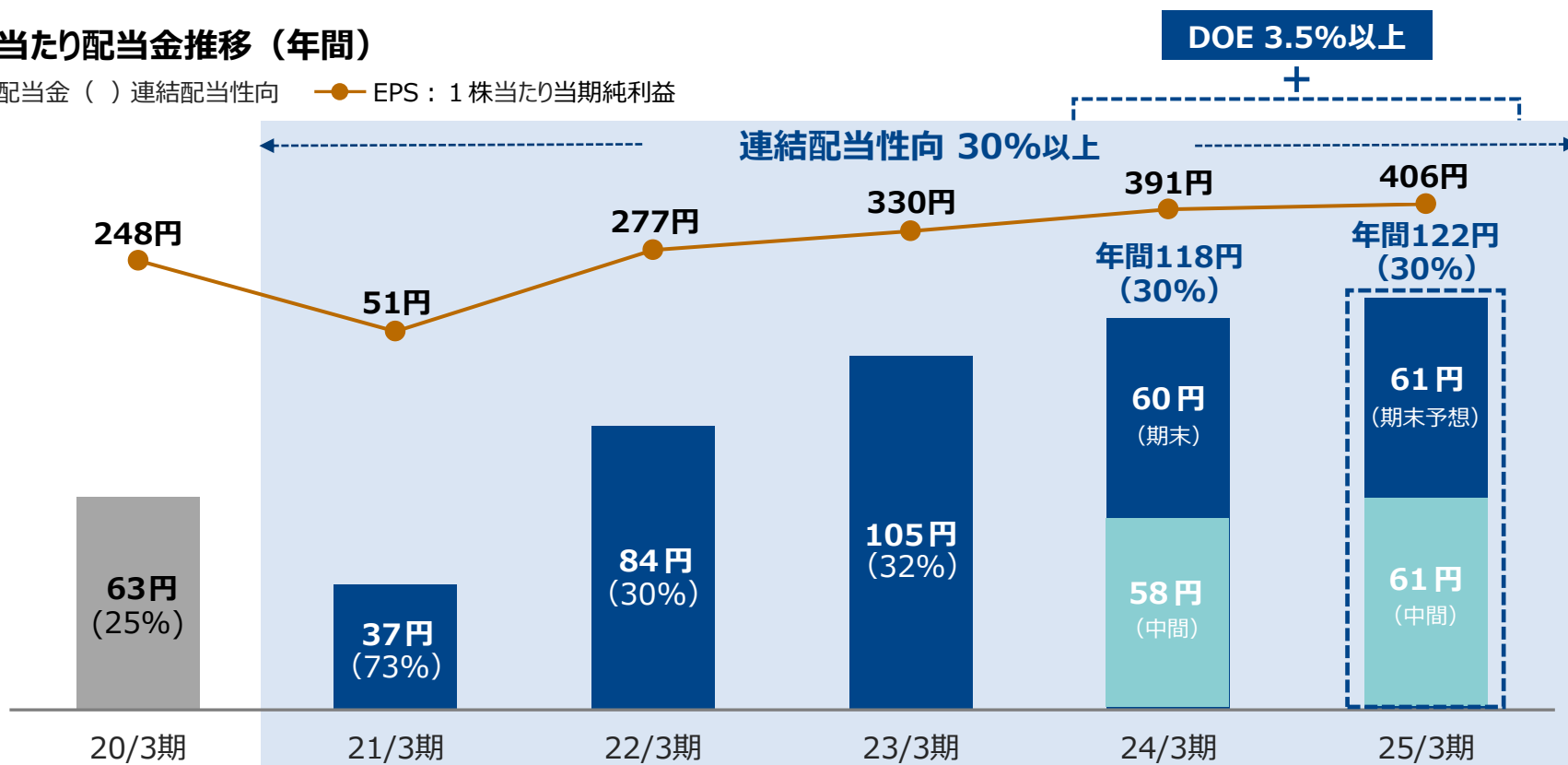
- 株主への利益還元を重要な経営課題の一つと位置付け、継続的・安定的な利益還元と経営・財務の安定性確保の観点から、親会社株主に帰属する当期純利益の水準に応じた業績連動型配当を実施。
- 配当方針：連結配当性向30%かつ株主資本配当率（DOE）3.5%以上

2025年3月期
年間配当予想

2024年4月26日公表の通期業績見通し及び上記配当方針に基づき、中間配当61円を実施。年間配当金122円（期末配当金61円）の見通し。

1株当たり配当金推移（年間）

■ 配当金（ ）連結配当性向 ● EPS：1株当たり当期純利益





あなたの夢に挑戦します。

蝶理株式会社

本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、
本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものです。
本資料において当社の将来の内容・業績を保証するものではありません。